

研究課題	2.1 気象レーダーを用いた噴煙の汎用的解析手法に関する研究
研究期間	平成 29 年度～平成 31 年度（3 年計画第 3 年度）
実施官署	鹿児島地方気象台
担当者	（鹿児島地方気象台）鳥巢啓多、中橋正樹、山下隆丞、池亀孝光、五藤大仁、山下千尋、竹下孝弘、手操佳子、新恵正信、長山泰淳、井上温史、岸本博志、千馬竜太郎、福島秀樹、満永大輔、武石貢佑、矢野美波
担当研究官	[火山研究部] ○佐藤英一
目的	地方官署（現業）における気象レーダー網を用いた汎用的な噴煙解析技術の確立である。また本研究を通じて、まだコミュニティの規模としては小さい、気象レーダーを用いた火山噴煙解析分野の裾野を拡大することである。
研究の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・気象研究所による解析方法を使い、桜島などの噴火事例による事例解析などを行う。 ・気象レーダーによる解析手法をとりまとめる。検討の際には、OJT も行う。また、手法の限界についてもとりまとめる。
平成 31 年度 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・火山噴煙解析手法の検討 ・OJT ・汎用的な火山噴煙解析手法のとりまとめ